

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 日伝
 コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 憲三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 吉田 富一
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

上場取引所 東

TEL 06-7637-7000

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 23,079 | | 1,134 | | 1,268 | | 690 | |
| 20年3月期第1四半期 | 22,694 | 2.7 | 1,258 | 6.4 | 1,415 | 9.8 | 845 | 5.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 43.87 | |
| 20年3月期第1四半期 | 53.03 | |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 59,616 | | 49,450 | | 82.9 | 3,141.90 |
| 20年3月期 | 60,619 | | 49,316 | | 81.4 | 3,133.31 |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 49,450百万円 20年3月期 49,316百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 20年3月期 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | | | | 50.00 | 50.00 |
| 21年3月期(予想) | | | | 50.00 | 50.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期累計期間 | 47,500 | | 2,580 | | 2,800 | | 1,640 | | 104.20 |
| 通期 | 96,000 | 3.5 | 5,300 | 4.2 | 5,700 | 4.0 | 3,300 | 3.7 | 209.67 |

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第1四半期 | 15,943,000株 | 20年3月期 | 15,943,000株 |
| 期末自己株式数 | 21年3月期第1四半期 | 203,833株 | 20年3月期 | 203,688株 |
| 期中平均株式数(四半期累計期間) | 21年3月期第1四半期 | 15,739,240株 | 20年3月期第1四半期 | 15,940,248株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

・当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格をはじめとする素材価格の高騰や、米国経済の景気後退懸念など先行きに不透明感が増しており、依然として厳しい状況が続いております。

当社を取り巻く機械器具関連業界におきましては、原材料の価格改定などにより利益確保がより厳しさを増しておりますが、工作機械など全体としては堅調に推移いたしました。

このような状況の下で、当社におきましては専門商社機能に軸足を置きながら専門総合商社への展開を図るとして縦割の発想から横断的な発想でコーディネータとしての機能を具体化すべく『温故知新と未来への挑戦』を基本方針とし、取扱商品の拡大、市場の拡大、新しいビジネスモデルの創造・開発、新しい付加価値の提供に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期におきましては、売上高230億7千9百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益11億3千4百万円（前年同期比9.8%減）、経常利益12億6千8百万円（前年同期比10.4%減）、四半期純利益6億9千万円（前年同期比18.3%減）と増収減益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ10億2百万円減少し、596億1千6百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ11億9千万円減少し、422億2千万円となりました。これは、現金及び預金が5億6千万円、受取手形及び売掛金が3億2千4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億8千7百万円増加し、173億9千5百万円となりました。これは、投資その他の資産が2億7千9百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ11億3千7百万円減少し、101億6千5百万円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ11億9千8百万円減少し、91億4千3百万円となりました。これは、未払法人税等が8億1千4百万円、賞与引当金が2億9千6百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6千1百万円増加し、10億2千2百万円となりました。これは、繰延税金負債が2億2千万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が2億3千1百万円増加したこと等により494億5千万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ5億6千1百万円減少し147億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億8千5百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が12億5千4百万円あったものの、法人税等の支払額が10億8千8百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、3百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入が4億5千3百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が2億5千3百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、7億4千3百万円となりました。これは、1株当たり50円の配当金の支払額が7億4千3百万円あったこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では、平成20年5月8日の決算発表時に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当社は、平成20年6月24日開催の定時株主総会において、総会終結の時をもって、取締役及び監査役に対する役員退職慰労金制度を廃止するとともに、同退職慰労金の打ち切り支給の承認を受けております。これに伴い、当該役員退職慰労引当金の残高は全額取り崩し、打ち切り支給の未払い分165百万円については固定負債の「その他」に含めて表示しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,914 | 16,474 |
| 受取手形及び売掛金 | 21,619 | 21,944 |
| 商品 | 4,301 | 4,100 |
| その他 | 390 | 902 |
| 貸倒引当金 | △6 | △12 |
| 流動資産合計 | 42,220 | 43,410 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 8,016 | 8,076 |
| 無形固定資産 | 630 | 662 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 8,775 | 8,474 |
| 貸倒引当金 | △26 | △6 |
| 投資その他の資産合計 | 8,748 | 8,468 |
| 固定資産合計 | 17,395 | 17,208 |
| 資産合計 | 59,616 | 60,619 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,726 | 7,906 |
| 賞与引当金 | 302 | 598 |
| その他 | 1,114 | 1,836 |
| 流動負債合計 | 9,143 | 10,341 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 219 | 234 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 312 |
| その他 | 802 | 413 |
| 固定負債合計 | 1,022 | 961 |
| 負債合計 | 10,165 | 11,303 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,368 | 5,368 |
| 資本剰余金 | 7,283 | 7,283 |
| 利益剰余金 | 36,573 | 36,670 |
| 自己株式 | △555 | △555 |
| 株主資本合計 | 48,669 | 48,766 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 781 | 549 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 0 |
| 評価・換算差額等合計 | 781 | 549 |
| 純資産合計 | 49,450 | 49,316 |
| 負債純資産合計 | 59,616 | 60,619 |

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

| | |
|--------------|--------|
| 売上高 | 23,079 |
| 売上原価 | 19,752 |
| 売上総利益 | 3,327 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,192 |
| 営業利益 | 1,134 |
| 営業外収益 | |
| 仕入割引 | 103 |
| その他 | 98 |
| 営業外収益合計 | 201 |
| 営業外費用 | |
| 売上割引 | 68 |
| その他 | 0 |
| 営業外費用合計 | 68 |
| 経常利益 | 1,268 |
| 特別利益 | |
| 投資有価証券売却益 | 9 |
| その他 | 0 |
| 特別利益合計 | 9 |
| 特別損失 | |
| 固定資産処分損 | 10 |
| 投資有価証券売却損 | 10 |
| その他 | 2 |
| 特別損失合計 | 23 |
| 税引前四半期純利益 | 1,254 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 325 |
| 法人税等調整額 | 239 |
| 法人税等合計 | 564 |
| 四半期純利益 | 690 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

| | |
|---------------------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 1,254 |
| 減価償却費 | 116 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 302 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △200 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △4 |
| その他 | △256 |
| 小計 | 1,212 |
| 利息及び配当金の受取額 | 60 |
| 法人税等の支払額 | △1,088 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 185 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △253 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △147 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 453 |
| その他 | △56 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 自己株式の取得による支出 | △0 |
| 配当金の支払額 | △743 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △743 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △561 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,261 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,700 |

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期損益計算書

| 科目 | 前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) |
|----------------|---|
| | 金額(百万円) |
| I 売上高 | 22,694 |
| II 売上原価 | 19,315 |
| 売上総利益 | 3,379 |
| III 販売費及び一般管理費 | 2,121 |
| 営業利益 | 1,258 |
| IV 営業外収益 | 220 |
| V 営業外費用 | 62 |
| 経常利益 | 1,415 |
| VI 特別利益 | 13 |
| VII 特別損失 | 1 |
| 税引前四半期純利益 | 1,427 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 370 |
| 法人税等調整額 | 212 |
| 四半期純利益 | 845 |

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

| 科目 | 前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日) |
|-------------------------|---|
| | 金額(百万円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 1,427 |
| 減価償却費 | 84 |
| 売上債権の増加額(△)又は減少額 | 840 |
| たな卸資産の増加額(△)又は減少額 | △ 129 |
| 仕入債務の増加額又は減少額(△) | △ 697 |
| その他 | △ 249 |
| 小計 | 1,275 |
| 利息及び配当金の受取額 | 76 |
| 法人税等の支払額 | △ 1,301 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 51 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 151 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △ 207 |
| その他 | △ 9 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 368 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 配当金の支払額 | △ 723 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 723 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 |
| V 現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△) | △ 1,040 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,152 |
| VII 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,111 |

6. その他の情報

(生産、受注及び販売の状況)

(1) 販売実績

| 期別 | 当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | |
|--------|---|--------|
| 区分 | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 動力伝導機器 | 10,667 | 46.2 |
| 産業機器 | 4,659 | 20.2 |
| 制御機器 | 7,752 | 33.6 |
| 合計 | 23,079 | 100.0 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

| 期別 | 当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | |
|--------|---|--------|
| 区分 | 金額(百万円) | 構成比(%) |
| 動力伝導機器 | 9,019 | 45.2 |
| 産業機器 | 4,137 | 20.7 |
| 制御機器 | 6,795 | 34.1 |
| 合計 | 19,952 | 100.0 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。